

へ知ってる？ 仏事のあれこれへ

「修正会」ってなあに？



く年頭の南無阿弥陀仏く

堺市 西願寺住職 藤原 勲

修正会は正月に勤まる法会のことです。正月と言くと初詣として神社にお参りをされる方が多く見えますが、お寺では修正会が勤まります。私のお寺でも元旦には都合の良い時間を選んでお参りいただけると3回勤めています。年末から本堂の清掃をして内陣の荘厳を整えて修正会を勤める準備をします。ご本尊にお備えます。ご餅にと、ご自宅です

る門徒の方もいらっしやいます。お家のお内仏（仏壇）の荘厳も本堂と同様に打敷を掛けて鏡餅をお備えて正月を迎えます。正月は、普段日付が変わるのとは違い、特別な日を迎えるような感覚があります。また、年が変わるという、大きな区切りでもあり、旧年を振り返り新しい一歩を踏み出す気持ちや、新しい一年を迎えることができる感謝の念が湧いてきます。よく祖母が存命のころは正月に

なると数え年で「お前は〇〇歳になったな」と誕生日のように年の積み重ねを知らせてくれました。数年前まで修正会のお勤めを終えると「明けましておめでとうございませ。本年もよろしくお願ひします」と新年の挨拶を参詣の方に向けてしていました。しかし、ある年から、お参りされる方々は、それぞれに様々な思いを持っていて、のではと考えるようになりました。それから、みなが同じように「おめでとうございませ」ではなく、新年の挨拶はあらため参詣者と一緒にお念仏を申すようにしました。

神社へお参りをしているのですが行ってもいいのでしょうか。お祝いをしていいのでしょうか」と聞かれることがあります。神社には死に触れた人を忌避するいわれがあるように伝えられていることで心配されていると思われまます。「気になるなら止めておけばいいし、気にならないのならお参りしてもいいと思いますよ。でもお寺はいつでも誰でもお参りできますから拒むことはありません」と答えています。正月を迎える気持ちは一人一人それぞれ違うことでしょう。お寺では年頭の南無阿弥陀仏を通して年の積み重ねを感じながら、私のこれからの歩みを確かめたいものです。